

発行—2017年3月1日

<http://gdtk.lib.gunma-u.ac.jp>

編集—群馬県大学図書館協議会「会報」編集委員会 前橋市荒牧町4-2(群馬大学総合情報メディアセンター内) TEL.027-220-7180



東京福祉大学

Tokyo University and Graduate School of Social Welfare



CONTENTS

■ 研究会報告 平成28年度第1回大学図書館研究会	2
■ トピックス	7
■ 編集後記	8

研究会報告

大学図書館研究会・群馬県図書館協会専門研修 (群馬県大学図書館協議会・群馬県図書館協会 共催)

○平成28年度第1回

テーマ：「災害に学ぶ―図書館と災害・防災」

日時：平成28年9月6日（火）13時20分～16時00分

場所：高崎経済大学図書館 ホール

参加者：41名（大学図書館33名、公立図書館4名、高校図書館4名）

講演：「災害から資料を守り、救うために」

日本図書館協会 資料保存委員長 眞野 節雄 氏

ワークショップ：「もし明日、地震が来たら」

草津町立温泉図書館 中沢 孝之 氏

【概要】

【講演】

災害大国の日本であるが、近年ますます多発し、どこでも災害から逃れることができない状況である。それぞれの図書館において大切な資料が被災しないために、被災したときに、どうすればよいのだろうか。また、被災のなかでも特に恐いのが「水損」である。洪水、地震による配管破損などに限らず、雨漏りなどで被害に会うことは日常的に起こる。カビの危険のほか、アート紙やコート紙は固着してしまう。どうすればよいのか。

都立図書館で作成した「資料防災マニュアル」や東日本大震災で津波被災した資料の修復などを通じて感じたことなども含めてお伝えしたい。

【ワークショップ】

図書館で地震が起こったら、まずどうする？利用者の安全を確保するには？館内の避難経路は頭に入っていますか？災害が起こったときに慌てないために。ワークショップ形式で検討する。



会場：高崎経済大学



眞野講師



中沢講師

【参加者の意見等】

- ・ 図書館の災害・防災の想定を考えるよい機会だった。マニュアルの作成に着手しなければならないと感じた。
- ・ 群馬は災害の少ないところと安心してきっていたが、危機管理について改めて考えさせられました。ふだんから、利用者が資料を雨や飲みものでぬらすことがあるので、水ぬれについて学ぶことができて良かった。
- ・ とても考えさせられました。平常時に考えることの大切さを知りました。細かな点にも気をくばって、もう一度図書館の安全を考えてみたいと思います。

等の感想が寄せられ、参加者にとっていつでも起こり得る災害へ備え、利用者の安全確保と資料保護の必要性を感じた有意義な研究会となった。

研究会資料(1)

災害から資料を守り、救うために

2016shinno

- 図書館資料は「文化財」でないから、救わなくても良いのか
博物館、文書館のない地域、特殊コレクション、地域の「宝」(地域資料)
- 資料の災害対策についての「教科書」はたくさんある。しかし、各機関での具体的なマニュアルはない。
 - 『図書館、文書館における災害対策』サリー・ブキャナン著 日本図書館協会, 1998.12
 - 『資料保存と防災対策』全史料協資料保存委員会編 全史料協資料保存委員会, 2006.3
 - 『みんなで考える図書館の地震対策』日本図書館協会, 2012.5
 - パネル「利用のための資料保存(災害編)」
(「ネットワーク資料保存」第99号 日本図書館協会資料保存委員会, 2011.10)
- 東京都立図書館資料防災マニュアルについて
前提(基本的な考え方、構成)
3つの特徴
 - 資料が受けるダメージから見る
 - ダメージの種類によって優先順位がある
 - 塗工紙に着目(都立中央、山口大、陸前高田、常総、都立中央)
→「水濡れした塗工紙にどう対処するか」(文化財保存修復学会第35回大会研究発表要旨集 2013)トリアージフロー図
被災資料救済セット 冷凍庫の確保 吸引掃除機
訓練
- 大規模な水濡れ被災
 - 被災想定一津波、洪水など大量に被災が想定される場合
 - 資料群ごとの順位付け
 - 同じ資料群のなかでのトリアージは困難?
 - 被災してしまったら—冷凍施設の確保。真空凍結乾燥、脱気(脱酸素)の問題点
 - 大規模被災に対しては、現実的にはそうならないように「予防」が命?
- 陸前高田の津波被災資料の修復
 - 何を修復しているのか
 - 「郷土資料をもう一度集めます。陸前高田の歴史を残し、伝えていきたい」記録動画「大津波からよみがえった郷土の宝—陸前高田市立図書館郷土資料の修復」(15分)
(日本語版) <https://www.youtube.com/watch?v=2YT0uGFYhAc>
(英語版) <https://www.youtube.com/watch?v=q4M-N3K3lpY>

研究会資料(2)

水濡れすると2つの危険がある

1. カビの危険 対応策: 早く乾かす
2. 固着の危険 対応策: 濡れた状態にしておいて、素早くできる分ずつ処理する(乾燥させる)
固着の原因: 水分→乾燥+何らかの微生物?

カビ、固着を回避する時間稼ぎの方法

		カビ	固着	
冷凍	3ヶ月~	○	○	全く完璧
脱酸素	(常温)3ヶ月~	○	○	異臭、べたつき発生
脱気	(常温)3ヶ月~	○	○	異臭、べたつき発生
ポリ袋	(常温)5日	○	○	カビに対しては、通常14日程度は○ 固着に対しては、5~14日程度○ ただし、日数が長くなるにつれ異臭、べたつきが発生
冷蔵	常温の3倍程度時間稼ぎできる			

他に……

水道水による水洗、きれいに洗えば洗うほど固着回避の効果あり(カビ発生に対しても効果あり)
水道水に浸けておく。1か月は確認済。
消毒用エタノール噴霧してのポリ袋収納

※いずれの場合も暗くしておくこと固着は確実に起こりにくい。



ENGLISH 中文 臺灣
 携帯サイト サイトマップ 都庁総合トップページ
 サイズ 小 中 大

サイト検索 検索

- 本や資料を探す
- 調べる・相談する
- 江戸・東京資料案内
- イベント情報
- 利用案内

トップページ > 都立図書館について > 資料収集・保存について > 資料保存のページ

資料保存のページ

平成28年4月更新

都立図書館は、戦前や近世の資料も多く所蔵しており、その国内有数の蔵書数と共に、資料保全室（製本室）を独自に持つことでも知られています。“資料保存”—それは、都立図書館の様々なサービスの基盤となるものです。所蔵資料をいつでも提供できるようにすること同時に、都民の文化遺産として後世に伝えることは、資料の収集と合わせて都立図書館の重要な使命です。私たちは、“利用のための資料保存”を、都立図書館の運営方針や収集方針を踏まえて、関係機関との相互協力のもとに、組織的・計画的に実施しています。

図書館資料は外的要因（保存環境や資料の取り扱い方など）及び内的要因（酸性紙や製本の方法など）によって、どうしても劣化や損傷を避けられません。そこで、このページでは、資料保存にとって少しでも参考となることを願い、私たちの日頃の取り組み、特に、修理については日本の公立図書館では唯一ともいえる技術やノウハウを順次公開していきます。

TOPICS

資料保存のトピックス一覧は[こちらをクリックしてください。](#) (平成28年4月)

都立図書館の資料保存

報告書・指針等

- 資料保存執行体制検討部会報告書（資料保存のあり方）【抜粋】（平成10/3/25）
- 都立図書館所蔵資料の劣化調査について（概要）【抜粋】（PDF形式 102KB）
- 東京都立図書館 資料保存ガイドライン（平成22/8/1）【抜粋】（PDF形式 211KB）
- 東京都立図書館資料保存委員会設置要綱

資料保全室の仕事

災害対策（資料防災マニュアル）

- 陸前高田市立図書館 東日本大震災被災資料の修復について
- 記録動画「大津波からよみがえった郷土の宝～陸前高田市立図書館郷土資料の修復」（15分）
【日本語版】【英語版】
※動画を閲覧する際に東京都公式Youtubeページへ移動します。閲覧環境によっては動画が再生できない場合がございます。

研究会資料(3)

別紙1

参考

被災資料救済セット

平成25年12月

1 目的
主に、震災や台風等の災害に伴い発生する書庫での漏水に対応し、資料が水濡れした際に迅速に保護・修復できるようにするために、下記のとおり被災資料救済セットを中央図書館・多摩図書館に配置する。

2 セット内容

① Aセット(現場対応用) **赤い容器**
漏水が発生したことがある又は予想される箇所の付近に配備することにより、被害の拡大防止と水濡れ資料の救出に必要な機材のセット

目的	No	品目	数量	用途
水の除去	1	吸水土のう	6個	吸水及び水濡れ範囲拡大防止
	2	バケツ	3個	
	3	雑巾	30枚	汚れの拭取り、吸水など
	4	新聞紙*	適量	吸水及び資料梱包
隔離	5	ブルーシート	2枚	現場養生
	6	ビニール紐	1個	
	7	養生テープ	2個	
	8	はさみ	1個	
資料の避難	9	ポリ袋	100枚	一時的な乾燥防止(主に塗工紙)
	10	軍手	10双	防護
	11	マスク	1箱(50枚入)	防護(50枚入)
	12	ゴム手袋	1箱(100枚入)	防護(100枚入)
記録	13	台草*	適量	適宜あるものを使用
	14	カメラ	1個	
	15	被災記録票	適量	
	16	油性ペン	3本	
収納	17	鉛筆	12本	
	18	コンテナ	1個	

*4,13はコンテナに収容しない

② Bセット(資料対応用) **青い容器**
水濡れ資料を避難させた場所での応急措置を行うために必要な機材のセット

目的	No	品目	数量	用途
資料の乾燥	19	タオル	30枚	吸水
	20	吸水紙	8束	吸水
	21	竹へら	10本	ページ割がし
	22	ピンセット	10個	ページ割がし
資料の乾燥	23	耐水紙	1本	貼りつき防止(主に塗工紙)
	24	不織布	適量	貼りつき防止(主に塗工紙)
	25	板*	適量	適宜あるものを使用
	26	重し*		適宜あるものを使用
時間かせぎ	27	脱気処理法器具セット*		カビ抑制のため(中央:30、多摩:20)
	28	ポリ袋	100枚	一時的な乾燥防止(主に塗工紙)
カビ発生防止	29	白衣	10着	防護
	30	エタノール	1本	消毒(500ml入)
	31	マスク	10枚	防護
	32	霧吹き	2本	エタノール入れ
収納	33	コンテナ	1個	救済セット収納用

*25~27はコンテナに収容しない、27は資料保全室で保管。



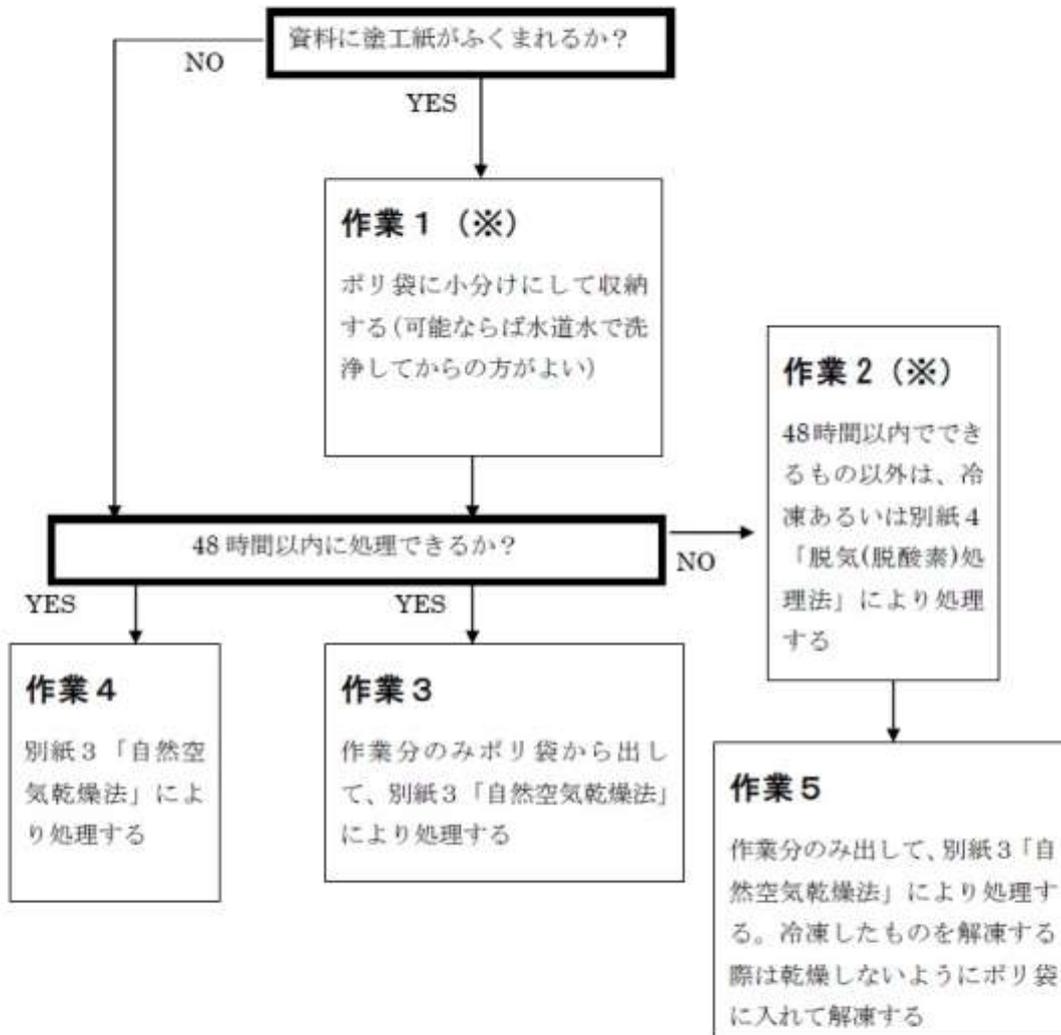
コンテナの大きさはたて59cm×たよこ48cm×高さ82cm 容量90リットル



研究会資料(4)

平成 25 年 12 月

(別紙2)トリアージ・フロー図



* 作業の優先順位は、番号順であるが、3、4については並行して作業できるとよい

- (※) アート紙、コート紙などの塗工紙のページ貼り付き（固着）を回避するために…
- ① 濡れた状態から素早くページ間を開き、乾燥させる方法（自然空気乾燥法）が基本である
 - ② ①の処置が直ちに全ての資料でとれない場合の時間稼ぎとしての最善策は「冷凍」である
 - ③ ポリ袋収納、脱気(脱酸素)処理法は冷凍庫が直ちにかつ十分に確保できない場合の次善策である
 - ④ この図は現実的にとりうる③の次善策に基づいて作成されているが、早急に冷凍庫を確保して移動させることが望ましい
 - ⑤ 水道水で洗浄しておく、カビの軽減だけでなく、塗工紙の固着を軽減できる

トピックス

育英短期大学図書館

桔梗祭「ヘルマンハーブ部による演奏会としかけ絵本展」

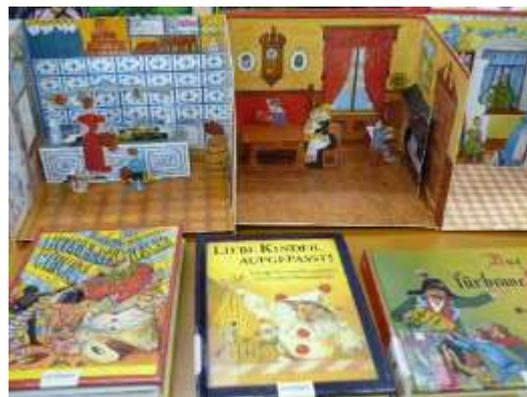
10月29日（土）・30日（日）の桔梗祭で、図書館では、ヘルマンハーブ部の演奏会と、定例の「しかけ絵本展」を開催しました。

図書館内でのヘルマンハーブ部による演奏会は、今年度で6回目を数え、恒例になりつつあります。ヘルマンハーブは、ドイツで開発されたバリアフリー楽器で、五線譜が読めなくても演奏できるように工夫がされており、音量が小さいため、室内での演奏に適しています。今回の演奏会は、用意した座席が満席になる盛況ぶりで、多くの来場者のみなさんが、繊細な音色と息の合った演奏に聞き入っていました。また、部員による楽器の体験コーナーや絵本の読み聞かせなども行われました。

定例の「しかけ絵本展」では、新着絵本として、メグゲンドルファー作品の復刻版をはじめ、定番のロバート・サブダ作品など、約400冊の所蔵の中から約80冊を選びすぐって展示し、趣向が凝らされたしかけ絵本を多くの来場者の皆様にお楽しみいただきました。



ヘルマンハーブ演奏会



しかけ絵本展

トピックス

群馬大学総合情報メディアセンター中央図書館

ギャラリー展示「PODによる本作り」

平成28年度第2回大学図書館研究会「PODを活用した地域活性～オンデマンド出版による1冊からの本作り～」の開催に合わせ、ギャラリーにて「POD (Print On Demand) による本作り」を開催中です。研究会の講師である、朝日印刷工業の富沢充芳氏が展示をご担当くださいました。“100×100 BY POD”というNPO法人ジョウモウ大学のプロジェクトによる正方形の図書のほか、写真集やカレンダーなど、こういうものをPODで作れるのかという具体例がよく分かります。再版は難しい郷土資料の復刻もPODなら可能であり、「群馬県史」や「みやま文庫」の復刻例も展示中です。PODは図書館には直接関係ないと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、図書館サービスの可能性を広げるヒント、学生たちの発想を広げるヒントになればと考えています。

- 展示期間 2月22日（水）～4月7日（金）
- 場所 1Fギャラリー



PODによる図書を展示中

トピックス

高崎健康福祉大学

健大祭で「ビブリオバトル」開催

「ビブリオバトル」は全国大会を実施するほど広がりを見せています。今年度の健大祭では、その「ビブリオバトル」を図書館主催で開催してみました。図書館として初めての健大祭参加でもあります。

準備として、本学の司書課程履修者(1、2年生)の授業でビブリオバトルを実際にやってみました。1年生は積極的に取り組んでくれ、投票により一番人気のあった「チャンプ本」に選ばれた学生2名に加え、読書好きな男子学生2名が健大祭への参加を決めてくれました。2年生は、他の催しに参加が決まっている学生や、健大祭に参加できない学生が多く、残念ながら女子学生1名の参加となりました。こうして、合計5名の学生が「バトラー(発表者)」となりましたが、開催するからには午前・午後と2回開催を目標としていましたので、これではとても足りません。そこで、夏休み中ではありましたが、司書課程履修者を中心に大学全体へ声掛けをし、図書館職員の協力でポスターも作成しました。その結果、幸いにも12名の学生がバトラーとして参加してくれることになりました。

健大祭当日、バトラーは5分間という長さに苦戦しながらも、チャンプ本を目指して一生懸命に発表してくれました。中には、時間配分を誤ったのか途中で沈黙してしまったバトラーもいましたが、そんなトラブルがあった本にも票が多く集まるという意外な結果になりました。これもビブリオバトルの面白さ、そして本の魅力なのかもしれません。

初めての開催ということもあり、聴衆がそれほど多くはなかったのは少し残念でした。聴衆が多くないため、発表後のディスカッション(2分間)での質問も限られ、進行役が戸惑う場面もありましたが、力強く乗り切ってくれました。ビブリオバトルを開催するにあたり、多くの学生にボランティアとして関わってもらいましたが、様々な思いを持つ学生が一つのイベントに関わることの面白さを改めて実感しました。

今後も健大祭でビブリオバトルを続けていけたらと思っていますが、そのためには学生の協力が必要不可欠です。学生にビブリオバトルの魅力を伝え、是非バトラーとしてスタッフとして活躍してもらいたいと思います。そして、来場者の目を引く健大祭の一大イベントとなることを願っています。

チャンプ本

- 午前の部
大人もぞっとするグリム童話
(由良弥生)
- 午後の部
りんごかもしれない
(ヨシタケシンスケ)



ビブリオバトルの様子



好評だった職員作成のポスター

編集後記

先日の定例総会における情報交換では、協議会の加盟館の多くが人員不足と書架スペースの狭隘化に悩んでいることが分かりました。同じ問題を抱える県内の図書館同士、より密な情報交換や悩みの共有が出来れば、この群馬県大学図書館協議会の存在ももっと意味のあるものとなるのではないかと思います。司書が一人しかいない職場も少なくないため、なかなか外に出られないという事情もあると思いますが、今後も会議や研究会、メーリングリスト等で少しでもつながってゆければと思います。